

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。12月定例会では、2日、3日、4日の3日間、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



**手話は「言語」！  
誰もが共に生きる社会に**  
大沢 えみ子(日本共産党)

## 今回の主なテーマ

- ▶手話言語条例
- ▶祇園保育所の運営
- ▶保育所の指定管理の考え方

### ◆手話言語条例

鳥取県で全国初の「手話言語条例」が制定された。今後の市の計画に反映させる考えは。  
**福祉こども部長** 手話の普及を図り、聴覚に障害のある方の暮らしやすい環境の整備は、大変重要なことである。26年度策定の第3次障



手話通訳と要約筆記

害者福祉プランには、手話が言語であるとの考え方を位置づけることが必要と考える。

### ◆保育における指定管理の考え方は

継続性と安定性が重要な保育現場においては、大きな問題がなければ継続指定を行うべきと考えるが市の見解は。

**副市長** 保育所は乳幼児の生活の場であり、健康な心身の成長には信頼できる大人とともに、安心して過ごせることが欠かせないため、指定管理者が頻繁に変わることは好ましくないと考えている。モニタリングや総合的な評価の中で、良好な管理運営がなされていると判断できた場合には、継続して同一法人を選定する方向で進めていく。



**東京五輪ゴルフ競技会場は  
霞ヶ関CCに決定**  
金子 広和(新しき)

## 今回の主なテーマ

- ▶小中一貫教育の学校設置
- ▶小規模特認校制度の導入
- ▶東中と狭山台中の統合

### ◆狭山市のPRには絶好の機会

霞ヶ関カンツリー倶楽部は、敷地の約5分の1が狭山市にまたがっている。オリンピックの市内開催を積極的にアピールすべきでは。

**総合政策部長** ゴルフ競技の霞ヶ関カンツリー倶楽部での開催は、市民、関係者が一丸とな



って盛り上げていくことが必要と考え、市民やマスコミに積極的にPRしていく。

### ◆学力向上・中一ギャップ解消に成果はあるのか

学制改革で小中一貫校設置の法制化が推進される中、東中・入間中を廃校にして、10校を8校に減らすことは児童・生徒のためといえるのか。

**学校教育部長** 小中一貫教育を実のあるものとするためには、施設一体型が望まれるところであり、そのためには施設の設備はもちろん、通学区域も大幅な見直しが必要になるものと見込まれる。今回の中学校の統廃合について、小中一貫校の設置と関連づけて、その是非を一概に判断することは難しいと考える。



**災害時、緊急時にも  
安心なまちづくり**  
広森 すみ子(日本共産党)

## 今回の主なテーマ

- ▶地域の防災まちづくり
- ▶建築物耐震化の進捗状況
- ▶狭山市駅前への公衆電話設置

### ◆家庭で防災対策をすすめるために

食糧の備蓄、家具の転倒防止、自宅の耐震化などに取り組むための啓発を強めてください。  
**市民部長** 広報紙や市のホームページで、災害発生時の行動や備蓄など災害に備えることの大切さを掲載している。また、地震ハザードマ



日ごろから常備して使いたい食品

ップには、地震への備えのみならず、各地区の危険度も示し、より対策の強化を呼びかけている。そのほか防災訓練、地域防災講座など、さまざまな機会を通じて、その必要性和効果について広く啓発を行っている。

### ◆緊急時に使える公衆電話の設置を

狭山市駅前の公衆電話は整備に伴って撤去されたままになっている。緊急時・災害時の通信手段として市の責任で設置する必要がある。  
**市長** 大勢の人が集まる場所に公衆電話が必要であることは認識している。駅周辺整備で撤去せざるを得なかった状況もあるが、今後いろいろなことを工夫する中で、NTTに引き続き強く要望していく。



**教育委員会に関わる問題点**  
萩原 義典(志政会)

## 今回の主なテーマ

- ▶現在の教育委員会の問題点
- ▶特色ある学校創りのために
- ▶学校教育と社会教育

### ◆教育委員会の認識

①現在、認識している教育委員会の問題点は。  
②教職員が子どもと接する時間はあるのか。  
③特色ある学校にするために、教育委員会から校長への権限移譲などの考えは。

**教育長** ①委員構成も年齢、職業、経歴などバランスがとれている。会議へ出席するほか、学校を訪問し、校長や公民館長などと意見交換をしている。今年度からは児童生徒や教職員と懇談する機会を持つなど、教育現場とも積極的に関わりを持っている。教育委員の職責を果たしており、問題ないと認識している。

**学校教育部長** ②第2土曜日に授業することで、平日に教職員が子どもと接する時間を確保している。今後もゆとりを持って子どもと

接するよう、行事の準備時間や休み時間中の会議を減らすなど、時間の確保に努める。  
③学校の自主性、主体性、創造性が発揮できるよう、規則により教育委員会が行う学校にかかわる人的管理、物的管理および運営管理は、ほぼ校長に権限が委譲されている。



ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれる方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

☎04-2953-1111 内線3313